

# こどもの声を市政に反映する取組について

市では、若い世代の意見やアイデアを市政に反映するため、小学生・中学生・高校生それぞれを対象に、各世代の視点を生かす取り組みを進めています。

## 小学生

小学生が考える  
ふるさと納税返礼品

こども  
市長室

## 中学生

ティーンズ会議

## 高校生

わたしの未来&ふるさと  
応援ワークショップ



# 1. 小学生が考えるふるさとと納税返礼品（稲田学園）

稲田学園の6年生が、全6回の授業でふるさと納税の仕組みを学び、ふるさととの魅力を再発見するための取り組みを行いました。

地元事業者の助言を受けながら、こどもたちがアイデアを出し合って新たな魅力を加えた返礼品は、各ポータルサイトで寄附受付を開始しています。



地元企業の製品をレビュー



オリジナルの返礼品(ドライトマト)



掲載されたポータルサイトを確認

## 2. 令和7年度ティーンズ会議

中学生の意見をまちづくりに生かすことを目的に開催したティーンズ会議では、市内在住の中学生13名をメンバーに、東京藝術大学と協力し全4回のワークショップと、東京藝術大学への研修視察を行いました。

グループワークは自分の考えを「本」にまとめながら進め、最終回の発表会では、これまでの成果を披露しました。



市長とまちの課題を考える



東京藝術大学への研修視察



これまでの成果を自分の言葉で発表



## 2. 令和7年度ティーンズ会議（参加者アンケート結果）

参加者アンケートでは、他校生徒や藝大との交流、キャンパスの見学等、ティーンズ会議に参加しないと体験できなかった機会を得られたことが、特に好評でした。

また、「役立つことが学べた」「市政への関心が高まった」と回答した参加者の割合は100%でした。

